

財務諸表に対する注記

令和5年3月31日 現在

1. 重要な会計方針
- 「公益法人会計基準」(平成20年4月11日(平成21年10月16日改正)内閣府公益認定等委員会)を採用している。
- (1) 固定資産の減価償却の方法
- (1)有形固定資産
- 建物・・・定額法(10年～24年)
- 建物附属設備・・・定額法(15年)
- 構築物・・・定額法(15年)
- 車両運搬具・・・定率法(5年～6年)
- (2) 消費税等の会計処理
- 消費税の会計処理は税抜き方式によっている。
2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
- 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建物	7,612,258	0	702,605	6,909,653
土地	7,500,000	0	0	7,500,000
小計	15,112,258	0	702,605	14,409,653
合計	15,112,258	0	702,605	14,409,653

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
- 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建物	6,909,653	6,736,109	173,544	
土地	7,500,000	5,954,408	1,545,592	
小計	14,409,653	12,690,517	1,719,136	
合計	14,409,653	12,690,517	1,719,136	

→指定正味財産からの充当額は	期首簿価	償却費
第3犬舎	653,321	124441
ドッグラン事務所	2,751,002	144427
事務所兼第1犬	3,993,558	392904
合計	7,397,881	661,772
合計(指定から一般への振替額)	661,772	

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
- 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	25,908,807	2,512,600	23,396,207
建物附属設備	4,266,241	745,114	3,521,127
構築物	580,000	126,295	453,705
車両運搬具	8,743,469	6,663,650	2,079,819
合計	39,498,517	10,047,659	29,450,858

第3犬舎、ドッグラン事務所、事務所兼第1犬舎の償却費は指定正味財産から一般正味財産への振替(固定資産受贈益)として毎期振替処理する

一般正味財産からの充当額214,377円は第二犬舎の簿価と一致する